

# 日本の格差対策への提言

格差縮小コミットメント指数から見た世界の取り組みとの比較から



## 井手英策

Eisaku Ide

1972年生まれ。東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。日本銀行金融研究所、東北学院大学、横浜国立大学を経て、現在、慶應義塾大学経済学部教授。専門は財政社会学。著書に『財政から読みとく日本社会』（岩波書店）、『18歳からの格差論』（東洋経済新報社）ほか多数。2015年度大佛次郎論壇賞、2016年度慶應義塾賞を受賞。

開催日時: **2018年1月27日(土) 13:00 - 16:00**

会場: 慶應義塾大学 三田キャンパス北館ホール

アクセス: 田町駅(JR山手線/京浜東北線) 徒歩8分

三田駅(都営地下鉄浅草線/都営地下鉄三田線) 徒歩7分

無料

定員: 100名  
要事前申込み

格差に関する取り組みの一環として、オックスファムは、「Commitment to Reducing Inequality Index(格差縮小コミットメント指数(CRI指数))」とその指数による152カ国のランキングを示した新たな報告書を発表しました。CRI指数は、各国政府の格差への取り組みをその政策から評価することを試みるもので、精査の対象となるのは、(1)税制(2)教育・保健・社会保障(3)労働政策の3分野です。

本シンポジウムでは、CRI指数の概要説明と日本を含むグローバルなランキングを概観した後、日本のランキングの解説と格差政策の評価、格差縮小に向けた提言を日本版ディスカッションペーパーを担当した井手英策・慶應義塾大学経済学部教授より報告します。後半は、パネリストを交え、みなさまとともに格差への具体的な取組みのあり方について考えます。多くの方のご参加をお待ちしています。



パネリスト

治部れんげ

Renge Jibu

大学卒業後、経済誌記者を16年務める。2014年より独立。著書に『稼ぐ妻育てる夫:夫婦の戦略的役割交換』(勁草書房)など。



パネリスト

大西連

Ren Onishi

認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい理事長。政府のSDGs推進円卓会議メンバー。著書に、『すぐそばにある「貧困」』(ポプラ社)



モデレーター

森下麻衣子

Maiko Morishita

オックスファム・ジャパン アドボカシーマネージャー兼 事務局長 外資系投資銀行等を経て、2010年オックスファム・ジャパン入職。現在は、調査提言事業を統括。

お申し込みURL: <https://goo.gl/1DA6rP>

お問い合わせ: 03-3834-1556

主催: 特定非営利活動法人 オックスファム・ジャパン



OXFAM  
Japan